



第5回  
わたなべ こうじろう  
**渡邊 公二郎 さん**  
伊豆の国市  
地域おこし協力隊



**温泉駅を交流の場に**

5月から新たに市の地域おこし協力隊として活動している渡邊さん。もともと、神奈川県庁の福祉関連部署などで仕事をしていたが、直接市民と関わる活動がしたいという思いが強くなったことや、父の実家が沼津市にあり、この地域になじみがあつたことから、当市の地域おこし協力隊の募集に応募したそうです。現在は、(一社)伊豆長岡温泉エリアマネジメントの活動に携わり、温泉場お散歩市の運営やシェアサイクルの推進など、地域のにぎわいづく

りに取り組んでいます。その中でも特に力を入れているのが、「温泉駅」の活用です。伊豆長岡温泉の玄関口で、昔から交通の拠点だった温泉駅。「温泉駅を活性化することが、地域を発展させる一つのきっかけになる。誰もが気軽に立ち寄れる、交流の場をつくりたい」と、渡邊さんは話します。自身も温泉駅に常駐し、地元の人が栽培した野菜の販売をはじめ、裏手にある事務所をコワーキングスペースやシェアオフィスとして整備を進めるなど、着々と交流の場づくりを進めています。今後について尋ねると、「地域の皆さんと強い信頼関係を築きたい。協力隊の任期終了後は、さらに福祉の視点も取り入れながら、伊豆の国市のまちづくりをしていきたい」と、頼もしく語ってくれました。渡邊さんにとって伊豆の国市は、「自然が豊かで、人が温かい場所」。掃除の手伝いを頼まれたり、「ちょっとご飯食べていきなよ」と、食事に招かれたり。「地域の皆さんが、よそ者ではなく、家族のように迎え入れてくれたことが、何よりも嬉しい」。この日も渡邊さんは、温泉駅で「常連」のおじいさんたちと交流の輪を広げていました。

かんたん手話講座 ③〇  
**秋**

「秋」の手話は、指を広げた両手を顔に向かっておおぐように繰り返し動かします。



障がい福祉課  
☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

**手話通訳者を目指す人のための学習会  
受講者募集**

とき／10月30日(日)10時～12時  
ところ／あやめ会館2階 会議室  
内容／手話通訳のスキルアップ、試験対策  
対象／静岡県手話通訳者養成講座を受講中または修了しており、全国统一試験合格後に伊豆の国市登録手話通訳者として活動できる人  
料金／無料  
持ち物／筆記用具、マスク  
申込／10月14日(金)までに電話またはFAXで障がい福祉課まで申し込みください。

連載  
ジヤルガルの  
**ほのぼの日記**

第55回  
モンゴルの公共交通の現状



国際交流員がモンゴルを紹介!

皆さん、サエンバエノーは。秋晴れが心地よい季節となりましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

モンゴルでは10月上旬から下旬にかけて徐々に気温が下がり、寒暖差への対応と防寒対策が必要になります。また、寒くなるにつれて自家用車や公共交通機関を利用する人が増えてきます。

モンゴルの首都ウランバートル市の人口は163万9,172人(2021年、NSO)で、近年の急激な人口増加に伴い、渋滞や大気汚染などの都市問題が深刻となっております。自動車台数も増加傾向にあり、特にウランバートル市内を中心に慢性的な渋滞が発生しています。その要因として、道

路や駐車場などの交通インフラの未整備、交通ルール遵守の不徹底などが挙げられます。

ウランバートル市で一番主流な移動手段はバスです。タクシーは少なく、短距離だと思つるように拾えませんが、バスは本数が多く、価格も安い。そのため、ウランバートル市内を移動するのにとても便利です。最近では、通常のバスのほか、電気で走る2階建てのバスも運行するようになりました。

通常のバスの運賃は、距離に関係なく一人500トウグルグ、現在の為替で22円ぐらいです。その他にトロリーバスが運行され、通常のバスの半額の運賃で乗車できますが、速度が遅いためどうしても通常のバスの利用者の方が多いです。以前は、

バスの中にいる黄色いジャケットを着た人に現金を渡して乗車するスタイルでしたが、数年前から、運賃の支払いに交通系ICカードが使用できるようになり、乗車時の手間が減りました。また、「UB Smart Bus」というアプリが導入され、現在地の近くにあるバス停の位置、停車するバスの種類、現在そのバスがどこにいるのかを確認することができるようになりました。雨や寒い時にこのアプリがあれば、外でバスを待つ時間を減らすことができます。私はずっとモンゴルの公共交通の現状を伝えてきたので、今回は「UB Smart Bus」について詳しく紹介します。

私はたまに伊豆の国市内を走るバスに乗りませんが、丁寧な運転、車内の快適さにいつも感動します。ウランバートル市内を走るバスは満員で、急ブレーキがかかる場面も少なくありません。

草原の国のイメージが強いモンゴルですが、公共交通事情を知って驚く人も少なくないでしょう。それでは、バイタルタエ。

協働まちづくり課  
☎ 055(948)1412



ウランバートル市の渋滞の様子